

# 社団法人熊本県建設業協会芦北支部 平成18年度安全大会を実施

平成18年10月31日

芦北支部では『**全員参加で取り組む安全 リスクを減らして無災害**』をスローガンに、去る平成18年10月31日津奈木町文化センターにおいて平成18年度安全大会を実施した。

経営者の労働安全衛生に対する意識の向上と従事する労働者の安全衛生に対する認識と行動意識を促進させることを目的に、会員68社より代表者並びに現場監督・職長の代表、総勢約150人が参加。



大会会場



安全大会参加者



安全推進委員による指差し呼称実演

主催者挨拶として演壇に立った坂田支部長は「安全に対する意識を一人ひとりが持つことが重要。各社においては労働安全衛生マネジメントシステムの考え方であるP(計画)D(実施)C(評価)A(改善)サイクルを実践していただき、現場安全水準の向上を図ることで安全対策の徹底を促進することができる。会員各社の努力により、この芦北支部管内から労働災害が発生しないよう頑張っていきましょう。」と安全対策の方向性を含め挨拶。

来賓には八代労働基準監督署小西明子署長、熊本県芦北地域振興局宇藤信幸土木部長を向かえ、それぞれ安全衛生の重要性を訴えた言葉を頂いた。

この後、大会事業として「飲酒事故防止」について水俣警察署交通課北沢昇課長から、飲むなら乗るな乗るなら飲むなの徹底についての講演とビデオ上映が、続いて「職場で出来るリフレッシュ体操」を医療法人室原会菊南病院の今村洋美さんより、実技を交え音楽のリズムに合わせて行う簡単なストレッチ体操を伝授。

大会最後に、安全大会を企画運営した安全推進委員会を代表し廣島康雄委員長が謝辞を述べると共に、各位会社に帰った後全職員に対し本日の安全大会の目的である「一丸となって取り組む芦北支部の全体活動」について実践をお願いしたいと述べ、18年度安全大会を締めくくった。